

西新宿七丁目町会

青年部ニュース

No.34

旅行同好会

お伊勢食べ歩き

嶋村好彦

年一回の青年部の旅行は、遷宮したばかりの真新しい松の香のするお伊勢参りとしやれこんだ。

暑い夏なのに全員背広、ネクタイ着用で正装し、青年部の益々の発展と濱田さんの健康を祈願するために神楽殿に上がり正式参拝しました。

名古屋でおいしい味噌煮うどんを食べ、伊勢では松坂肉のステーキを食べて宴会後、市内のスナックへ全員で

くりだし、宿は百年の歴史のある旅館に泊、身も心も古きを訪ねて新しきを知るの様に歴史の町に旅をして、全員さわやかな気分になって帰って来ました。



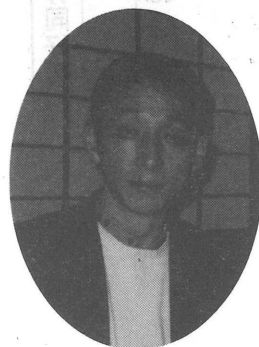
凛々しいネクタイ姿

部長挨拶

私からの御礼

佐藤 豊

定年制廃止後、最初の部長として四十歳の私は、町会行事に於ける「下積経験」のない、歴代部長とは違うタイプの部長として、十月に一年を向かえますが、「常識と経験豊富」な部員・役員・歴代



部長・町会役員様の御指導と御協力のおかげで、なんとかやってこれたような気がします。この場を借りまして心より御礼申し上げます。

昨年、新部長挨拶の際、若手の部員の

新入部員挨拶

新入部員になって

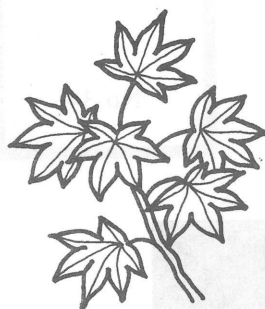
東條 英一

初めまして東條です。

西新宿七丁目に来たのが一九六九年九月、森正ビル新築工事の現場監督としてでした。以来二十五年間、西新宿七丁目の皆様にお世話になっていきます。

この度定年制廃止の恩恵を受け、青年部に入部させて頂きました。部員になっても何をしていいのか、そんな時、子供縁日に参加しないかと誘いを受けました。始めて売る側になってこんな楽しき方もあるんだと感激致しました。初参加の為、青年部のTシャツを着るのも忘れ土屋さんにお借りしました。

こんなドシな私ですが皆様の足手まといにならぬ様頑張るつもりです。今後とも宜しくお願い申し上げます。



婦人部

たわごと

村上 暢子

祝、青年部長、誕生！。

部長の亡き父上とは二十数年から町会の役員等でお付き合いがありました。父上は御自分の事を「おじさん」と呼んでいました。私共も「おじさん」となつて居りました。その頃部長は花の独身？でしたが、私の事を「おばさん」と呼んでいました。疑問は感じていたものの、さして気にも留めていませんでした。だがしかし、彼が部長になった現在「おばさん」呼ばわりに反発を憶えます。年のせいかも知れませんが、それよりも重責を担う年令と人格を兼ね備えて来た、そんな彼に……である。

この様に我が町会も二世が活躍する時代になって来ました。おじさんが連れていた、よちよち歩きの三世も（部長の子供）他の団体で一緒にです。「光陰矢の

如し」、時の流れは早いもの、町会の方から「おばあさん」と呼び名が変わるまで元気で長生きし、皆さんの三世、四世が活躍する日を見たいものです。

祈、青年部御隆盛！

OB会

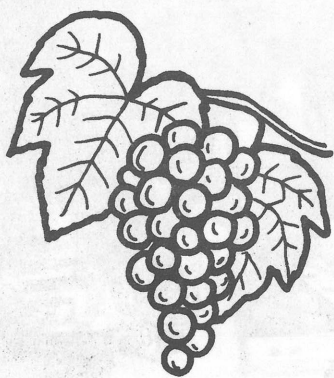
青年部の皆様へ

OB会会長 宮島 右近

青年部の皆様、今日は。私は前会長の会田さんよりOB会会長を引き継ぎ、早や一年もたとうとしています。

私には歴代会長みたいに立派な事はとも出来そうにもありませんが、役員の方々、又会員の皆様に支えられて、なんとか至らないながら今日までやってきました。

OB会は親睦団体であり、会員の親睦



を目的とした団体です。いわば、町会の「じゅんかつ油」みたいな働きをしていると思います。その上で青年部の行事への協力、又町会への行事には、会員が町会の役員の大半をしめている現在、それぞれ立場で協力して行きます。

又青年部の定年制がなくなり、今までのような青年部との関係が今後は少しづつ変わって行く事とは思いますが、今まで通り青年部とOB会は、兄弟同様の付き合いをお願い致します。



今年からスキー同好会をつくりました渡辺望博です。
二年に一度開催しますので、スキーが大好きな人（うまい人、へたな人、始めてスキーをする人）とにかく興味のある人は大歓迎です。
それから第一回スキー同好会に参加していただいたみなさんには、本当にありがとうございます。第二回目も参加していただきたいと思います。

スキー

スキー同好会

渡辺 望博

ゴルフ

西新宿七丁目ゴルフ同好会

石川 謙一

青年部ゴルフ同好会を昨年の秋に解散して、主催はもとより町会ゴルフと名称を改め、今回、第一回目のゴルフコンペが開催されることになりました。

平成六年四月十日、埼玉県「こだまゴルフクラブ」に於いて春の青空の下、参



加者はそれぞれ、やれクラブだ、いや腕だキャリアだ、感性だと、思い思いのご託を並べ、一日楽しくプレーをすることが出来ました。

今回は、初めて他町会青年部の部長や



近隣町会の方々の参加者もあり、第一回目のゴルフ大会として多いに意義であり、且又、次回のコンペに多いに楽しみが出来ました。
帰着後、キープポイントに於いてパーティーを開き、優勝（川原康之）、準優勝（田中万丕）、三位（生田正博夫）、その他の順位などを発表しました。
また今回、加賀谷哲夫さんが、五番ホール、パー三にて見事ホールインワンの快挙を成し遂げ、第一回目のコンペに花を添えてくれました。さて、パーティーも滝良貞大会会長、小林六郎実行委員長の挨拶と共に、次回コンペを楽しみに開会となりました。
幹事さん！、御苦労さん！。

レクリエーション

しいたけ狩り

& バーベキュー

清水 孝

六月二十六日、西新宿七丁目町会青年部恒例のレクリエーションが、七十名近い参加で行われました。

午前八時に常泉院前をバス二台にて出発、途中石川パーキングエリアにて休憩の後、神奈川県

「藤野園芸ランド」に無事到着致しました。

しいたけ狩りでは、勝手のわからない子供達も、帰りは園内備え付きのカゴに山ほどしいたけを取り喜んでいました。
つぎは一kmほど歩いて、じゃがいも農園へ行きま



した。こんどは採っただけ帰りの道程がたいへんな、じゃがいもとだいこん！。かわいそうだったのがお父さん達、子供達が無責任に採ったじゃがいもとだいこんを持つての暑い2kmにも、3kmにも感じる帰り路…。

バーベキュー場に到着しての最初のビールの一割がおいしかったのなんの！。バーベキュー場に到着したら小雨がパラと。涼しくなり、かえって良いあんばい。一時間コースと三十分コースに分かれてのハイキングコースへいざ出発！。

東京の、それも新宿に住む子供達にと

って、土に触れ、木に親しみ、山に溶け込みと…。素晴らしき一日となったことでしょう。

農家の人々の収穫の大きさ、そして楽しさを少しでも感じて、食べ物の好き嫌いが少しでもなくなれば、この度のレクリエーションは大ヒットでしょうね！。

レクリエーション寄付者

加賀谷良平、森井光義、田中直久、滝良貞、小嶋茂、居酒屋しんちゃん、近藤隆二、清水孝、林田秀雄、山形しあわせ銀行・和田英光、中村保信、小林正典、中野正徳、林正誠、佐藤豊、宮島右近、川原康之、小林孝一、OB会、常泉院・浅井、渡辺勝栄、嶋村好彦、石川慶太郎、池田公保、石川愛子、川村勝、伊豆箱根バス・水野、石田和雄、フランス料理・伊藤、林一夫

（順不同、敬称略）
毎回多額の御寄付、本当にありがとうございます。
青年部一同



新年会

新年ボーリング大会

新谷 巧

二月六日曇り空の中、高田馬場のシ
チズンボールで四十余名が集まり、練
習をやや多めに肩慣らしをして二時に
スタートしました。

にぎやかなうちに三ゲームがすぎ、
アベレージが気になりだす参加者の声
が騒々しく、そこらそこで聞こえま
した。やはり運動ごとに強い実力者、
川原康之さんの優勝が決まりました。

今回は子供さんの参加が少なくスム
ーズに終わり、青年部の新年会及び懇
親会へと新宿スターホテル「白札屋」
に向かいました。五時から始まり多少
人員も増え、部長の挨拶に続きボーリ
ング大会の結果発表と景品の贈呈を行
いながら歓談に入りました。そのまま
流れ解散となり、無事に終了しました。



今回の開催には一人でも多く誘って、
より楽しくやりましょう。お疲れさま
でした。

西新宿7丁目町会青年部 平成7年度収支計画書

自 平成6年10月1日
至 平成7年9月30日

収入の部		支出の部	
費用	金額	費用	金額
前期繰越金	321,060	総会費	480,000
部費収入(昨年度未収金)	260,000	厚生費	1,800,000
部費収入(6,000×86名)	516,000	会場費	50,000
特別会費・縁日売上	1,500,000	印刷費(青年部ニュース)	150,000
町会補助金	400,000	事務通信費	30,000
		交際費	250,000
		予備費	237,060
合計	2,997,060	合計	2,997,060

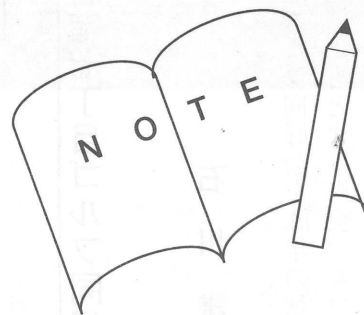
挨拶

会計になって

大塚 康弘

領収証の束との格闘、肉一〇キロ、
ビール五ケース、ねぎ三本…さあ大詰
め、電卓を押す指にも力が入ってきた。
これで最後ピッピッピッ、「むむむ。」
計算が合わない!。あらい息を沈めつ
つも一度ピッピッピッ。駄目だ、ダ
メだ、だめだ。クーラーの音が、音
の洪水となって頭の中を室外機のファ
ンの様に、グルグル回っている。「今、
何時だ。」目の前の時計を見ると、針は
一時三〇分を回っている。「明日、朝早
いんだよな」「まいったな」「ん!」
時計の下に領収証が一枚ヒラヒラ…バ
カヤロー。

記録的な猛暑が過ぎ秋風の吹く頃、
七丁目の皆様いかがお過ごしでしょう
か。さて、佐藤青年部長より会計に任



命され、早一年たちました。慣れぬ仕
事から、失敗ばかりしてきましたが、
諸先輩のアドバイスにより何とかのり
きってまいりました。

お金の使う事の好きな私には、大
リーグボール養成ギブスならぬ、会計
ギブスをつけたこの一年で、かなり経
済観念が養成された様に思いますが、
残りの一年ギブスをもっとしめて楽し
く勉強していきたいと考えております。
「よいごしの金は持たね。」と、お
考えの皆様、会計ギブスのつけこち、
いいですよ!。

西新宿7丁目町会青年部 平成6年度収支計算書

自 平成5年10月1日
至 平成6年9月30日

収入の部		支出の部	
費用	金額	費用	金額
前期繰越金	163,219	総会費	481,074
前前期繰越金	389,039	員交費	102,150
前前期繰越金	258,000	員生場通員信	1,713,642
前前期繰越金	260,000	厚会費	42,000
前前期繰越金	135,500	印刷費	15,780
前前期繰越金	190,000	事務費	65,000
前前期繰越金	129,500	印刷費	123,600
前前期繰越金	157,281	印刷費	32,000
前前期繰越金	890,931	印刷費	78,000
前前期繰越金	400,000	印刷費	321,060
前前期繰越金	836	印刷費	
合計	2,974,306	合計	2,974,306



縁日、打ち上げ大いに盛り
上げる！
お手伝いありがとうございます。
来年もよろしく…。

青年部一同

行きが良く、大変盛り上がりつつ中締め
となり、公園の中を三本締め、威勢の
良い手拍子が響いていました。



縁日寄付者

阿部うた、小料理喜代美、川嶋勘一郎、近
藤隆二、清水孝、新宿広小路会、新宿広小
路会青年部、半田弘、スナックのどか、林
田秀雄、前波保、上野勝夫、大塚敏男、石
田和雄、中野正徳、石川慶太郎、浅井憲龍、
永嶋靖久、渡辺勝栄、小野沢富士雄、佐藤
昌之、清水貞明、森井光義、鈴木松夫、宮
島右近、池田公保、笹生栄一、河野洋寿、
小林正典、川原康之、川村勝、林正誠、佐
藤豊、小林佳直、吉川欽章、新井正夫、西
口睦、小嶋茂、春日一郎、小林孝一、高須
保、荒井保次、福田典義、滝良貞、土屋三
郎、田辺光夫、加賀谷良平、会田友太郎、
丸山博郎、七丁目OB会、小玉久吉、尾澤
孝宜、小林六郎、鈴木康夫、佐々木憲一、
村上暢子、西新宿八丁目町会青年部、羽田
悟、西新宿六丁目町会青年部、若山直義、
伊藤武明、成子商店会青年部、桑原公平、
西新宿八丁目成子町会、松永啓二郎、栗原
伸夫、高柳卓三、中村保信、林一夫

(順不同、敬称略)

毎回多額の御寄付、本当にありがとうございます。
青年部一同

縁日

子供縁日

林 英夫

八月二十八日(日)に子供縁日が柏
木公園で行われました。

今年は天気にも恵まれ、晴天の下で
警視庁新宿警察署の婦警さん達の交通
紙芝居や手品からスタートしました。
例年以上に子供達も集まり、各コーナ
ーには長い列ができていました。公園
の中は関係者のはりきった声や子供達
のはしゃいだ声など明るい声がいっぱ
い溢れていました。

予定終了時間の午後三時を待たずし
て、午後二時半にはすべて完売してし
まいました。私の娘たちも数人の友達
を誘って来て、帰りには大きな袋をぶ
らさげて皆喜んでいました。

そのまま公園で打ち上げに突入…。

今年初めて試みた生ビールも大変売れ



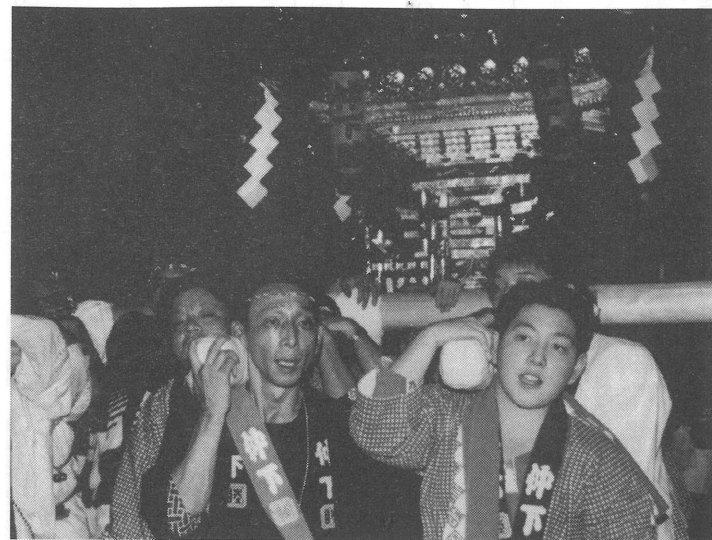
祭礼

今年は晴れ年

石川 時義

ものすごく暑かった夏が終わり、秋の訪れと共に恒例の大祭がやって来ました。

九月二十二日台風がやって来るか否か、曇り空の中、御神酒所設営、一年に一度の事なので私は設営の段取りが良く分かりません。でも、さすがに神輿に命をかけている人達が居るもので、その人達の手際はたいしたもの、中には御神酒所が自宅になる人もいて、それ



はもう一生懸命、設営が終わるのを待っていたかのように雨が降って来ました。ものすごい大雨です。明日の天気予報は台風の影響で雨の確率五〇%、だれもが雨の中の渡御を覚悟、久しぶりの中、小神輿も中止にしようか等との話も出ていました。

そして当日、雨は上がって曇り空、神の恵みか、はた又青年部長佐藤豊氏の神通力か？（本人はその気でいました）。昼の十二時半から中、小神輿及び大太鼓が町内を渡御、さて次は大神輿という頃には薄日も差し始め絶好の神輿日和、夜の九時頃までのたっぷりの渡御も無事に終わり、本当に良かった。

二十五日のカラオケもすみ、二十六日の心地



よい疲れと、空しさ残しての後片付け…。そして御神輿は一年の眠りに付きましました。

また来年もガンバリましょう。

西新宿七丁目のあれこれ

第一回

常泉院「昭和の奇跡」

浅井 憲 龍

超能力、オカルトなどと書く何だかうさんくさく思われる方もあるでしょう。

しかし仏の世界では不思議な話、信じられない出来事などがしばしば示されているのです。仏力、法力、経力の働きであります。世間では玉石混交して本物も、そうでない物も区別がなされていらないようです。

さて本年は新宿大空襲から半世紀となりました。常泉院の奇跡、少くも五十年前の出来事を初めて紙面にいたします。

ご理解いただけるや否や、ご意見をお待ちします。

「熱い！、熱い！、火の勢いが強くて建物に近づけない。危険だから消火はあきらめて避難しましょう。」（上田商店きんし園元社長上田氏の懐古談）。



昭和二十年五月新宿駅一帯の空襲は雨あられの爆弾投下におそわれ、各町々は火の海とかし常泉院はその真ただ中に位置していたのである。（昭和

二十五年から始められた土地区画整理事業以前の境内地は、今より広く山門前の歩道から青梅街道一部路上迄が寺の地所であった。）

境内に対する空爆は激しさを加え、爆風は建物をゆがませ本堂にかかった大きな扁額を吹き飛ばしてしまった。本堂の前庭にはローソクをたてたように不発弾が何本もつきささっていたと云う。一方、庫裡の右隅にあった風呂場には、直撃弾が命中し火災が発生燃え上がった。隣接の常円寺祖師堂も常泉院の庫裡からもちまちあ炎が上がった。住職や町の警防団が消火に当たったが、とても消火作業が出来る現状ではなくなった。身に危険が迫り避難する外なかったのである。（当時町には消防の組織などはなかった。青年は戦場に向かい多くは戦地に散ってゆかれた。ちなみに昭和三十年の男子の平均寿命は、二十三・九歳、女子は、三十七・五歳であった。第二次大戦による日本人の死者は、三百万人を超えている。）

人々は炎と熱風の中を新宿駅西口広場へと避難していった。我が身の安全確保がやっとであった。

果たしてどれ程の時間が経過したであろうか。ふと我に返った先代住職は、

すっかり焼け落ちたであろう常泉院を振り返り見て驚がくした。

「なんと本堂や客殿がそのまま焼けずに残っているではないか!。しかも皆が避難したはずなのに本堂の屋根上で消火作業が行われている。三人の姿勢がはっきりと見えたのだ。まぼろしであろうか?。とても人さまに出来ることではないのだ。」

余りにも不思議な情景を先住は一部の人にしか話さなかった。信じてもらえる事ではなかったからだ。

昭和二十年八月戦争は終わった。焼野が原に残った建物はレンガ造りの精華学園と木造では常泉院だけであった。消火を断念して避難していった人々は「三人の仏様が常泉院を守ったんだ。」と語り合った。その集まりが後の子安会(信行会)となった。

終戦直後、寺の建物は焼け出された人々の仮宿に開放された。一時は客殿が淀一小の教室になり、後には教員室として使われた。(現客殿は昭和五十二年新築)。

昭和二十二年三月、淀橋区は新宿区と改称された。焦土と化した新宿は今日、日本を代表する超近代都市に姿をかえた。その一角に五十年前奇跡的に残った建物も共存しているのである。

来年度の行事予定

十一月	クリスマス会
十二月	レクリエーション
一月	新年会
二月	新年会
三月	未定
四月	未定
五月	未定
六月	未定
七月	旅行
八月	縁日
九月	祭礼
十月	総会

新入部員紹介

6 B 佐々木 喜興 (株)シーキューブソフト

西新宿七ー十五ー十七
昭和三十年十一月十九日

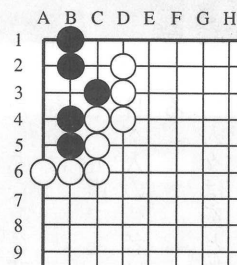
6 B 星野 順之 とんかつ ほしの

西新宿七ー十五ー十四
昭和四十六年十月二十三日

3 B 滑川 豊敬 (株)マック

西新宿七ー十九ー二十二
昭和三十一年十二月二十日

■死活の問題 黒番
どう打ちますか



◎正解者(先着一〇名)には粗品進呈
丸美屋薬局まで

■持駒 銀
七手詰



土屋 三郎

編集後記

今回から新しい企画として、「西七あれこれ」が始まりました。西新宿七丁目近辺の様々な事物を紹介しようというものです。

編集部では、この他にも新しい企画を検討中です。迄う御期待!

編集部一同